



**NPO 法人大雪山自然学校**  
**2019 年度 事業報告書**

## 2019年度 活動報告

### 活動内容① 環境保全事業

#### ① 自然保護対策業務

東川町大雪山国立公園保護協会の委託事業として、5/15から11/15に旭岳自然保護監視員6名が活動しました。旭岳姿見の池園地における登山道整備や清掃活動、利用マナーの普及活動を行いました。

⇒ 登山道整備は新たに4か所を補修し、過去に実施した11か所の経過観察と再補修を行いました。

⇒ 協力金は2018年878,006円。2019年は528,712円をご協力いただきました。

⇒ レンタル長靴は4494足(1,348,200円)の貸出しがありました。

⇒ 山のトイレマナーと携帯トイレ使用の普及に努め、2019年は501個(250,500円)を登山者に普及することができました。

⇒ 延べ112人のボランティアが旭岳自然保護活動に参加しました。



⇒ 情報発信はブログを153回更新しました。

また、旭岳・天人峡ネイチャーレターを毎週火曜日に20回発行しました。

#### ② 東川町青少年野営場管理業務

1379人(国内1,169名・海外210名)の方々にご利用くださいました。

東川町の委託事業として、6/10から9/30の期間で野営場の受付や清掃などの管理業務を行いました。

⇒「魅せられる野営場」を目指し、草刈や環境整備を工夫し、野草や周辺環境を楽しんでもらえる野営場となりました。

### ③ 外来種防除活動

北海道上川総合振興局が事務局を務めるセイヨウオオマルハナバチバスターズと連携し、羽衣公園やキトウシ森林公園での防除活動に参加しています。旭岳周辺におけるセイヨウの監視活動も行っています。また修学旅行プログラム内で旭川市環境総務課、ウチダザリガニバスターズの協力の下ウチダザリガニの防除活動を行いました。

⇒ 外来種問題に関する市民の機運醸成に貢献しています。

### ④ 野生動物との共存推進事業

5月、6月、7月の3回にわたり、エキノкокスの虫下し入りの餌（ベイト）を作成し、東川町内全域に撒きました。全ての舗装道路に100m毎にベイトを撒いています。

⇒ ベイト散布の効果を高めるため来年度も引き続き実施します。



### ⑤ 勇駒別湿原再生

昨年度に引き続き旭岳温泉街の湧駒別湿原において、重機により踏みつけられた箇所の植生再生作業を、専門家の指導の下実施しています。

今年度は大学生ボランティアと共にミズバショウ、エゾノリュウキンカなどの株をおよそ300株移植しました。今年度は移植結果の検証と移植未実施場所への移植を行います。



### ⑥ 地球環境基金（大雪山国立公園におけるボランティア育成と持続可能な受入れの仕組みづくり）

事務局のOJTとボランティアを受け入れる仕組みづくりとボランティア向けの研修会を実施しました。

⇒ 旭岳自然保護監視員業務におけるボランティア活動の質が高まりました。効率的な運営ができるようになりました。

## 活動内容② 子供自然体験活動

### ① イエティくらぶ東川校（主催月例）

述べ**31**人の子どもたちに**4**件のプログラムを提供しました。

「北海道の子供が体験すべき自然を訪ねる」をコンセプトに主に東川町、旭川市の小学生を対象とした自然体験プログラムを実施しました。

⇒「羽幌町・天売島キャンプ」ではたくさんの海鳥を観察できました。

### ② 木育フェスタ in 東川を開催

東京海上日動火災株式会社の助成を受けて、キトウシ森林公園をフィールドに親子向けの「木育」イベントを実施しました。

**137**名（内子ども**58**名）の方々にご参加くださいました。

⇒ ツリーイングやクラフト、薪割り、トドマツ製油蒸留、など多様な木育プログラムを体験してもらうことができました。



### ③ キトウシこどもの森

2018年から内閣府の企業主導型保育事業でスタートした保育所、キトウシこどもの森（キトキト）は、2019年度に園舎を改修し、2020年4月から定員が12名に増えました。（現在10名が在籍中）大人3～4人と子ども10人で、年間約280日間キトウシの森の中で遊んでいます。

#### ・主な活動

- ・森のようちえん活動
- ・食育
- ・誕生日会（園児一人ひとり）
- ・キトキト畑で野菜作り
- ・季節の行事

春：公園利用者向けに「はなをふまないでください」手づくりで木の看板作り。

園内のゴミ拾い活動。

夏：危険生物（マダニ・うるし・ハチ）に気を付けて暑さと日差しを遮ってくれる森の中での遊び

秋：落ち葉遊び、木登り、薪ストーブの薪割り

冬：雪遊び、そり遊び



#### ・木育活動 木育マイスターの保育士が指導者として活動

#### ・歌活動 東川町のこども事業「うた広場」

アコースティックユニットドートレトミシー（東川町地域おこし協力隊）による親子参加型の音楽活動への参加。

会場の小西音楽堂では、ピアノ演奏とプロの歌手の表現豊かな歌声に合わせて、沢山の歌遊びを身体を動かしながら楽しんでいます。

#### ・ボランティア、インターンの受け入れ

近隣及び海外の大学生、専門学校からのインターンシップ受け入れ。

地域住民が毎週金曜日に絵本読み聞かせ活動にボランティアとして参加。

⇒ 在籍児童は、生きる力と考える力を得ています。また、卒園児も自然という自分でコントロールできないものに向き合う中で、問題を解決する能力を身に着けました。



#### ④ キトウシ牧場

2018年に道産子を2頭導入。キトウシの森をフィールドに、日々の暮らしを営む。馬の命に寄り添い、馬と関わることで生まれる学習の中から、自らの生きる力の獲得を目指し活動を展開中。セラピー活動の傍ら、事業所の開所を目指し準備を進めています。

##### ・馬との暮らし型セラピー勉強会

約2ヶ月に1度のペースで講師を招き、座学・実技各1時間の勉強会を開催しました。実技では実際に馬を使って実施しました。



##### ・セラピー活動

ホースセラピー会員の子もとに、週に1度セラピー活動を行っています。



## ⑤ オーダーメイド自然体験プログラム

- 神奈川の高中生 **160** 名の修学旅行を受け入れ、5テーマ（アイヌ・外来種・水・エゾシカ・森）に分かれて実施しました。

⇒ 2日間かけて個々のテーマを深める専門性の高いプログラムができるようになりました。

- 中国からの親子プログラムの受け入れ。

**3** 件のプログラムを実施、**27** 人の方々にご参加くださいました。

⇒ キトウシのケビンやホテルを拠点に、夏は旭岳・天人峡周辺トレッキング、キトウシ山登山や森のプレイパーク、キトウシ森林公園に滞在する長期プログラムができるようになりました。



- 米国高校生ワークショップの受け入れ。

**1** 件のプログラムを実施、**12** 名の方々にご参加くださいました。

5日間の日程でSDGsをテーマに活動を行いました。旭岳、天人峡では環境保全活動に参加、キトウシ森林公園で森のようちえんの子ども達と交流、旭川アイヌ記念館では北海道の先住民族について学ぶプログラムを実施しました。2020年度は新型コロナウイルス禍の影響で中止となりました。

## ⑥ 身体障害者を対象とした自然体験プログラム

- 重度障害のある養護学校児童を対象に、キトウシ森林公園の多様な樹種の枝や葉っぱに触れての学習と枝を使ったスプーンづくりを実施しました。



- カムイ大雪バリアフリーツアースセンターが主催しキトウシ森林公園で実施した、バリアフルキャンプでテントの立て方、焚火の仕方、ナイトハイクなどの野外活動を担当しました。

⇒ 障害を持った方でも、楽しく森や山で過ごせるアウトドアスキルを提供できました。

## 活動内容③ 地域に根差した交流推進事業

### ① 主催ツアー

11 件のプログラムを実施。68 人の方々にご参加くださいました。

・旭川集合解散で北海道の特色ある自然を訪ねるエコツアーです。

7/25 瀧沸湖（4名）、8/8 白雲山（13名）、9/24 三段山（9名）、10/10 音江連山（7名）、  
10/24 坊主山（10名）、11/4-5 中標津養老牛（6名）、1/25-27 道東タンチョウ（5名）、  
2/6 タウシュベツ橋梁（4名）、2/20 層雲峡大函（3名）、3/12 美瑛白金（7名）を実施しました。

⇒ 今後の活動を一緒に考える支援者となり、その意見をツアー企画に反映することができました。



### ② 受託ツアー

#### 1. 道新文化センター（生涯学習）

7 件のプログラムを実施。延べ 148 人の方々にご参加くださいました。

・道新文化センター旭川校で6月～9月に「高山植物ウォッチング」を実施しました。前期・後期で各3回旭岳に通いその時の自然を学ぶものです。

・3月～4月に「スノーシュー講座」を実施しました。旭岳の自然を学びながら冬のアクティビティであるスノーシューを体験する講座です。全3回の予定でしたが新型コロナウイルス感染防止のための1回のみの実施で終了しました。



⇒ 旭岳に複数回来てくれる地元の方たちと繋がることが出来ました。旭岳の環境保全活動の支援者になっていくことを期待しています。



### ③ 少人数制ツアー

44 件のプログラムを実施。343 人（日本延べ 3 名、外国人延べ 340 名）の方々にご参加くださいました。

- 北海道宝島旅行社や旭川まるうんトラベルと連携し日本人、外国人旅行者の受け入れを行いました。日本語と英語でガイドをしています。

⇒ 11 月と 12 月はシンガポールからの旅行者が多く、この時期に雪遊びができるのは旭岳に限られるため多くの旅行者が雪遊びプログラムに参加しました。

### ④ 団体ツアー

32 件のツアーを実施。284 名の方にご参加くださいました。

- 主に JTB などからのお客様を中心に、旭岳姿見の池園地中心にガイドツアーを行いました。

## 活動内容④ 人材育成事業

### ① ボランティアやインターンの受入れ（環境保全事業、地域に根差した交流促進事業と連動）

NPO 法人 ezorock、北星学園大学、北海道教育大学旭川校から、旭岳での環境保全事業や子ども自然体験プログラムに、日帰りから最長で4日間の受け入れを行いました。

⇒ ボランティアが活動することで、旭岳で環境保全が進められると同時に若者が育つ仕組みづくりができました。

### ② アドベンチャートラベルガイド育成

北海道運輸局と、大地みらい信用金庫の事業で、北海道アドベンチャートラベル協議会（HATA）と連携し、英語ガイドの育成研修を実施しました。

⇒ ネイチャーガイドを対象に、わかりやすく英語でガイドできる手法を共有しました。

### ③ 旭川市内中学校の職業講話

旭川市内の中学校の総合的な学習の時間における、職業講話の授業で「NPO で働く人」として、大雪山自然学校の仕事や NPO での働き方についてなど紹介しました。

### ④ 「大雪山環境保全プログラム」

地球環境基金の助成を受けて、環境保全活動をテーマにしたボランティア活動によって、若者が成長する枠組みを整えました。

⇒ ボランティアのすそ野を広げる広報、手間のかからない手続き、わかりやすい持ち物や現地へのアクセス、現場でのプログラム内容などを作りこみました。

## その他

### ① 北海道アドベンチャートラベル協議会（HATA）

荒井が北海道アドベンチャートラベル協議会会長に就任し、英語ガイドの育成と北海道におけるアドベンチャートラベルマーケットを呼び込む事業を進めています。

⇒ 大雪山エリアにおけるアドベンチャートラベルの受け入れの枠組みを整えています。

### ② サステイナブルツーリズム国際認証の導入に向けて

GSTC(Global Sustainable Tourism Council)が認定する持続可能な観光のための国際認証を日本に導入するプロジェクトにNPO 法人日本エコツーリズムセンターとして荒井が参画しています。日本の観光地が世界基準を満たしている状態にしていくことが目標です。

⇒ 運輸局が主導しているアドベンチャートラベルに、サステイナブルツーリズムを重ねあわせ、更には環境省が推進する「エコツーリズム推進全体構想」などと関連づけることで、過去の積み上げを生かした事業展開をしています。

### ③ 大雪山カムイミントラジオパーク構想

1市6町からなる大雪山カムイミントラジオパーク推進協議会の構成員として参画しています。

主に教育、観光の観点から認定に向けて活動を行っています。

⇒ 2020年度は、子ども自然体験活動（イエティくらぶ）と推進協議会が共催し、講師としてジオパーク専門員を招き、神居古潭探索やマグマ作り等の子ども向けジオ活動を行う予定です。

また、大雪山自然学校が実施しているガイドツアー等でジオパーク構想について参加者に広報し、地域住民にジオパークを知ってもらい認定に向けての協力を呼び掛けています。